

AIによる橋梁インフラ点検・診断システム

よくあるQ&A

2026/3/16時点 ver.5





○ システムの内容、操作方法について

○ 適用範囲

○ iPad端末について

Ver.5
更新

○ 基本情報の設定

○ 橋梁一覧画面・橋梁選択画面

Ver.5
更新

○ その4様式作成画面

○ iPadとクラウドの連携

○ 県様式の作成について

Ver.5
追加

○ DB登録について

Ver.5
追加

○ 納品データについて

Q システムの内容、操作方法を知りたい。

A 山口県 小規模橋梁 点検データベース（アドレスはメールにて通知）から
「ガイドライン」「操作手順動画」 をご確認ください。

問合せは「（一財）山口県建設技術センターのお問合せページ」へお願いいたします。

問合せ時には、**橋梁名、施設ID、エラー発生日時、実行したユーザ名、具体的な画面キャプチャ**

または出力ファイルを提供いただくと、早期解決につながりますのでご協力をお願いいたします。

山口県 小規模橋梁 点検データベース

ログインもしくはアカウント登録してください。

ログイン名

パスワード

ログイン

パスワード再発行

資料ダウンロード [こちら](#)

山口県 AIを活用したインフラ点検・診断システム 資料

■概要

AIによるインフラ点検・診断システムの概要（令和5年9月 山口県土木建築部）[ダウンロード\(1MB\)](#)

■ガイドライン

AIによるインフラ点検診断システム運用ガイドライン（令和5年9月 山口県土木建築部）[ダウンロード\(3MB\)](#)

■動画マニュアル

AIによるインフラ点検・診断システム 操作手順（動画マニュアル）

[\(1\) 事前準備編（令和7年12月1日版）](#)

[\(2\) 現地点検編（令和7年12月1日版）](#)

[\(3\) 記録修正編（令和7年12月1日版）](#)

■道路橋記録様式(R6.3)への変換ツール

新旧様式変換ツール（令和6年11月14日版）[ダウンロード \(103KB\)](#) ★個別処理ver

新旧様式変換ツール（令和6年11月14日版）[ダウンロード \(138KB\)](#) ★一括処理ver

<参考資料>変換対象項目 [ダウンロード \(144KB\)](#)

■よくある質問

AIによるインフラ点検・診断システム よくあるQ&A（令和6年3月27日版）[ダウンロード \(2MB\)](#)

【問合せ先】

（一財）山口県建設技術センター
AIによる橋梁インフラ点検・診断システム お問い合わせページ
<https://www.yama-ctc.or.jp/otoiwase-ai>

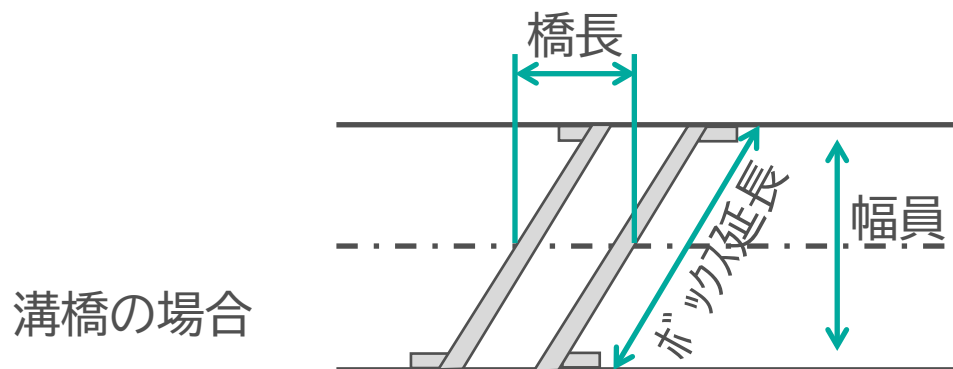
Q システムの適用範囲は。

A 構成する要素技術の特性に応じて適用範囲が異なるため、ガイドラインp7~11を参照ください。

(概要は右図)

Q 橋梁10m以下とあるが、幅員は関係ないのか。

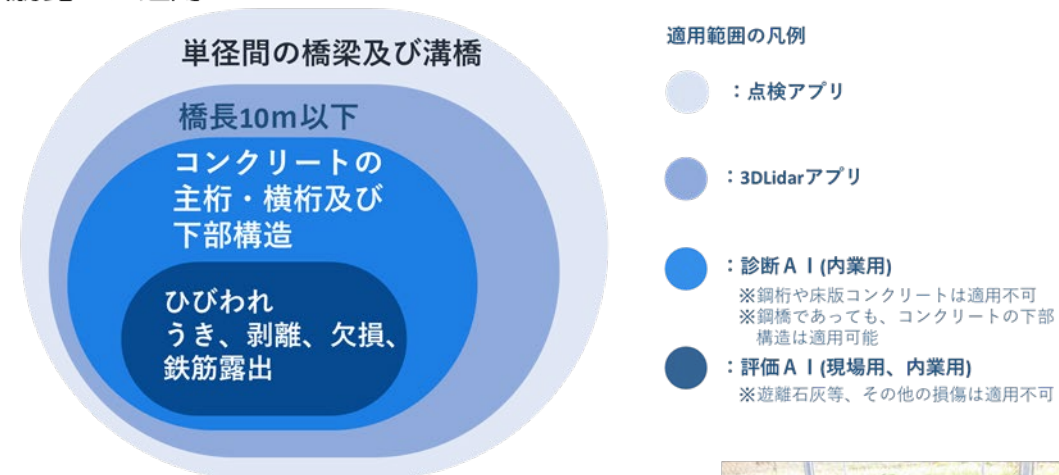
A 幅員は関係なく適用することとしています。
(溝橋であればボックス延長は関係ない)



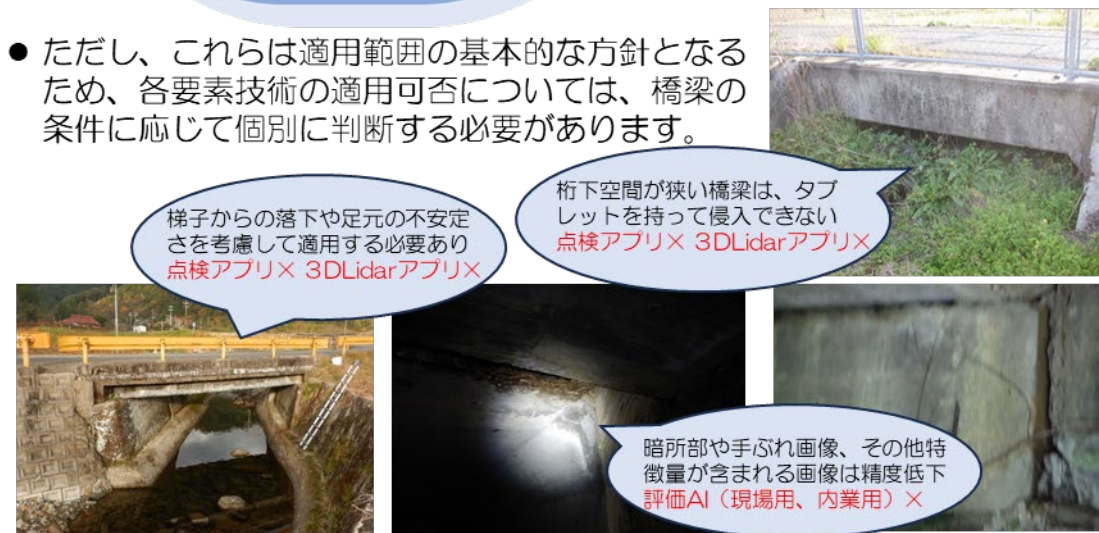
溝橋の場合



- ①点検アプリは、職員点検、委託B点検のうち、単径間の橋梁および溝橋に適用
- ②3D Lidarアプリは、①のうち、橋長10m以下に適用
- ③診断AI（内業用）は、②のうち、コンクリートの主桁・横桁及び下部構造に適用
- ④評価AI（現場用、内業用）は、③のうち、ひびわれおよびうき、剥離、欠損、鉄筋露出に適用



●ただし、これらは適用範囲の基本的な方針となるため、各要素技術の適用可否については、橋梁の条件に応じて個別に判断する必要があります。



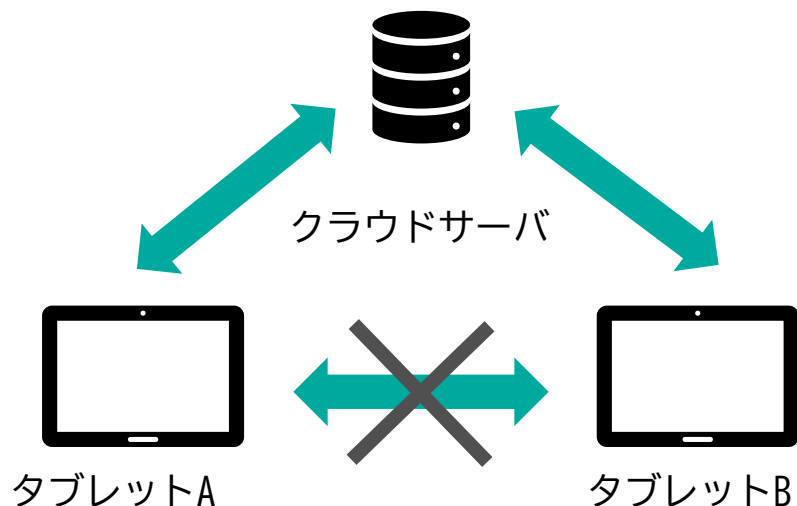
ガイドラインp7~11ほか

Q 複数台のiPad間でデータ連携可能か。

A 複数台のiPadに同じ橋梁のデータをダウンロードすることは可能ですが、iPad間でデータ共有（同期）することはできません。

複数のiPadでデータ共有したい場合は、一旦最新データをクラウドにアップロードして、再度ダウンロードすれば可能です。

なお、クラウド側では最後にiPadからアップロードした内容を正として上書きするため、一括アップロード等による意図しない上書きによるデータ消失等が無いようご注意願います。



業務タブ①、②切替によりアカウントの切替可能

Q iPadの推奨スペックはあるか。

A 推奨する性能要件は、下記のとおりです。

対応OS：ipad OS 15.0以降

動作保証端末：ipad pro (11-inch, 12.9-inch)

※ガイドラインp.13抜粋

Q iPad 1台につき、1つの引換コードが必要か。

A 引き換えコードは1台に1コードを配布します。

複数班で点検に使用される場合は、最小台数でコードを配布しますので、不足する場合は「お問い合わせフォーム」までご連絡ください。

Q 1台のiPadで複数アカウントの使用は可能か。

Ver.5
更新

A 1台のiPadで複数アカウントを使用できます。

業務タブによりアカウントを切替えてください。

	橋梁名	点検開始	橋梁情報			ダウンロード		アップロード
			橋梁情報	その他	点検データ	3Dデータ		
<input type="checkbox"/>	【開発テスト】橋梁1	点検開始	橋梁情報	その他	📄	📄		
<input type="checkbox"/>	【デモ用】橋梁03	点検開始	橋梁情報	その他	📄	📄		

Q 橋梁の基本情報に空欄の項目がある。

A システムに登録されている橋梁は、過年度調書等のデータを抽出して自動登録しています。このため、文字の表記・ゆれや、入力漏れ等により **情報が反映されていない可能性があります。** **基本情報の「編集」を選択し、内容の確認・編集をお願いいたします。**

表①の項目は、県様式調書及び橋梁一覧表にない項目のため、空欄が設定されています。

国様式、橋梁基礎データ表等を参照し、更新をお願いします。(不明な場合は空欄で構いません)

表①：空欄となっている項目

項目	参照元
道路台帳(図面コード)	橋梁基礎データ入力表(14)、橋梁点検一覧表
添架物	橋梁管理カルテ、橋梁点検一覧表
橋梁形式	国様式、橋梁点検一覧表
上部工形式	橋梁管理カルテ
橋種	橋梁管理カルテ
有効幅員	橋梁基礎データ入力表(28)、橋梁点検一覧表
幅員(車道)	橋梁管理カルテ
幅員(歩道)	橋梁管理カルテ
占有物件	国様式 ※添架物と同じ記載でOK
桁下高	橋梁点検一覧表
斜角①②	橋梁基礎データ入力表(29,30)、橋梁点検一覧表

表②の項目は、過年度の県様式調書や橋梁一覧表で空欄となっていた場合、初期値が入っていますので、参照元を確認の上、更新をお願いします。

表②：初期値が入っている可能性がある項目

項目	初期値	参照元
路下条件	道路	国様式、橋梁点検一覧表
代替路の有無	無	国様式
自動車道or一般道	一般道	国様式
緊急輸送道路	一次	国様式
主桁形式	RC床版橋	県様式
床版形式	コンクリート床版	県様式
海岸線区分	50m以内	橋梁基礎データ入力表(31)

表①②以外の項目についても、適宜、確認&修正をお願いいたします。

Q 全橋梁リストに橋梁が見つからない。

A 点検年次の前倒し等により未登録の橋梁がある可能性があります。システム上で対象橋梁が見つからない場合は、問い合わせフォームより、対象の橋梁名・施設IDをご連絡ください。

Q 全橋梁リストにチェックが入れられず、点検対象リストに追加できない。

A 他のユーザーが点検橋梁リストに追加している場合は、該当の橋梁がグレイアウトし、チェックを入れることができません。確認しますので、問い合わせフォームより、対象の橋梁名・施設IDをご連絡ください。参考ですが、該当の橋梁を点検橋梁リストに追加しているユーザー名は登録橋梁一覧画面から確認可能です。

Q DB登録のボタンを誤ってクリックしてしまった。

A DB登録は、今年度の点検帳票を最終化した段階で行う操作です。委託業務であれば発注者による検査終了後に行うことを想定しております。

一度DB登録をしてしまうと、ユーザー側で元に戻すことができません。

もし、誤ってDB登録してしまった場合は、問い合わせフォームより、該当の橋梁名・施設IDをご連絡ください。

グレイアウトの例（この場合、相津橋側道橋は選択不可）

<input type="checkbox"/> 施設ID	橋梁名	管理者名	箇所名	前回年月日
<input type="checkbox"/> 83-01-000758	相津橋側道橋	岩国土木建築事務所	岩国市周東町西長野下相津	2023-09-06
<input type="checkbox"/> 83-01-000145	細利橋	岩国土木建築事務所	岩国市下	

山口県 小規模橋梁点検DB

登録橋梁一覧

橋梁名 施設IDもしくは名称 管理者名 【デモ用】テスト事務所

<input type="checkbox"/> 施設ID	県	橋梁名	管理者名	箇所名	路線名	架設年次	橋梁形式 (上部構造)	橋長 (m)	幅員 (m)	点検状況	点検ユーザID	点検ユーザ名	
<input type="checkbox"/>	822239	【開発テスト】橋梁A	【デモ用】テスト事務所	山口市吉敷朝田	〇〇道路	2023年							<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	661543	【開発テスト】橋梁B	【デモ用】テスト事務所	山口市吉敷朝田	〇〇道路	2023年				点検中	douroseibi-s-2024-1	道路整備課	<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="削除"/>

Ver.5
更新

【開発テスト】橋梁Bは、道路整備課（点検ユーザ名）が点検橋梁リストに追加しているため、他のユーザーが点検橋梁リストに追加できません。

Q 更新率はどのようにしたら更新されるのか。

A 更新率は過年度の点検記録の損傷画像を更新したか（撮影したか）を表します。更新率がどのように変化するか事例を示します。

1. 損傷画像を更新（撮影）する場合

⇒更新率は上がる

2. 新しい枠で損傷画像を更新（撮影）する場合

⇒更新率は変わらない

3. 損傷画像を更新（撮影）後、画像削除機能を使用する場合

⇒画像を更新したときに更新率は上がるが、
画像を削除したら更新率は下がる

4. 過年度記録に損傷画像が存在するが、 損傷が補修されており、画像削除機能を使用する場合

⇒更新率は変わらない

TestFlight 9:24 3月10日(月) 22% 山口県

損傷等確認

その4 様式の更新率 16% 並び替え ページ追加

点検調査 その4 (損傷写真) 径間番号 1/1

損傷写真箇所図				写真番号	1	部位・部材区分	上部構造-コンクリート-主桁・横桁
				損傷区分	b	損傷の種類	ひびわれ
				コメント	(ひびわれ幅: 0 mm)(ひびわれ間隔: 0 m)		
							
写真番号	2	部位・部材区分	上部構造-コンクリート-主桁・横桁	写真番号	3	部位・部材区分	上部構造-コンクリート-Con床版・間詰め
損傷区分	c	損傷の種類	ひびわれ	損傷区分	a	損傷の種類	床版のひびわれ
コメント (ひびわれ幅: 0 mm)(ひびわれ間隔: 0 m)				コメント			
							

Q iPad上で点検データのダウンロードに失敗する。

A 「県様式」→「損傷写真（その4）」の各損傷写真に**損傷区分（a, b, c）**の設定がされていない場合、iPad上でダウンロードできないことがあります。

空欄の場合、過年度調書を確認して入力をお願いします。過年度調書でも空欄の場合は、仮値でかまいませんので入力してください。（今回点検の評価は適切にお願いします）



Q iPad上で「橋梁情報」にファイルが存在しない

A システム上では、iPadの点検時に使用する「**県様式**」の前回点検調書がPDF登録されています。

「**国様式**」、「**諸元（橋梁基礎データ入力表）**」をiPad上（現場）で確認したい場合は、システム上で橋梁の「**詳細**」→「**基本情報 編集**」より、PDFの登録を行ってください。

（現場での確認が必要ない場合、登録は不要です）



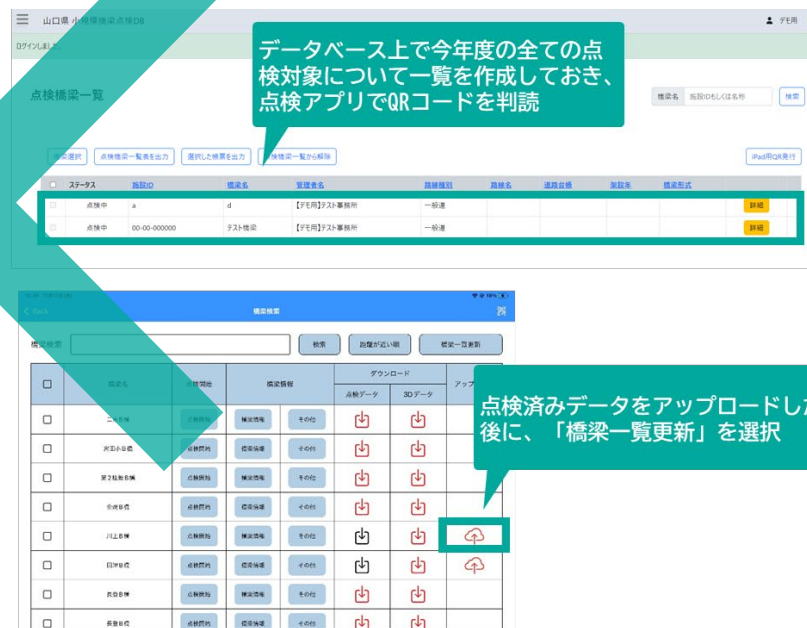
過年度県様式PDF	ファイルの選択
過年度国様式PDF	ファイルの選択
カルテ	ファイルの選択
諸元一覧	ファイルの選択

Q iPadの点検済みデータが削除されることはあるか。

A 点検した後に、「橋梁一覧更新」を選択した場合、点検済みデータが削除されます。

このため、事前準備段階で、QRコードを使用してiPadとクラウドを連携するときには、データベース上で今年度の全ての点検対象について、一覧を作成しておき、「橋梁一覧更新」を何度も選択しないことを推奨します。

途中で点検対象を追加したい場合は、点検済みデータを全てクラウドにアップロードした後に、「橋梁一覧更新」を選択することによって、点検済みデータの削除を防止することができます。



上記は、点検アプリ バージョン1.7以降では解決済のため、古いバージョンのアプリを使用されている場合にはアップデートをお願いいたします。

バージョン1.7より、橋梁一覧表更新ボタンを選択しても、点検データが保持されるように改修しました。

Q 損傷写真の追加をクラウドシステム上で実施する際、部位・部材が一部しか表示されない。

Ver.5
追加

A 橋梁ごとに、部位・部材の有無を設定する仕様となっています。

対象の部位・部材が表示されない場合は、登録橋梁一覧画面にて該当の橋梁を検索し、「詳細」⇒「橋梁部位」の順にクリックして、部位・部材の有無の設定を変更してください。



損傷写真追加画面

橋梁部位有無 (テスト橋)

部位・部材		損傷の種類	無し / 有り
上部構造	鋼	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	<input checked="" type="checkbox"/>
		亀裂、破断、変形	<input checked="" type="checkbox"/>
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	<input checked="" type="checkbox"/>
	コンクリート	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	<input checked="" type="checkbox"/>
		亀裂、破断、変形	<input type="checkbox"/>
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	<input type="checkbox"/>
舗装	主桁	ひびわれ	<input checked="" type="checkbox"/>
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	<input checked="" type="checkbox"/>
	横桁・鋼床版	遊離石灰、漏水(錆汁)	<input type="checkbox"/>
		異常な音、振動、たわみ	<input type="checkbox"/>
	主桁・横桁	補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	<input type="checkbox"/>
		床版のひびわれ	<input type="checkbox"/>
Con床版・間詰め	うき、剥離、欠損、鉄筋露出	<input type="checkbox"/>	
	遊離石灰、漏水(錆汁)	<input type="checkbox"/>	
	抜け落ち	<input type="checkbox"/>	
	補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	<input type="checkbox"/>	
	ひびわれ、ポットホール	<input type="checkbox"/>	
	路肩の凹凸(準線位置部の段差など)	<input type="checkbox"/>	

橋梁部位有無設定画面

Q 動画マニュアル（3）記録修正編で、DB登録後に選択することになっている「点検橋梁一覧から解除」のボタンが表示されない。

A システム改修に伴い、「点検橋梁一覧から解除」のボタンはなくなりました。

今後は、DB登録後の作業は不要です。

代わりに追加された「全て|未登録|登録済」の切替えボタンにより、DB未登録の橋梁と、DB登録済みの橋梁を絞り込んで表示することが可能です。



Ver.5
追加



Q 本システムを利用することで、オリジナルデータの納品は不要と考えてよいか。

A AIによるインフラ点検・診断システム運用ガイドラインでは、「記録作成後、データベースから各記録を出力し、発注者に電子成果品として提出する」こととしています。システム化に伴い、この電子成果品にオリジナルデータを含まなくてもよい運用となっています。

9. 記録作成・保存

- (1) 点検アプリからアップロードされてきた点検データは、データベースに上書きして、表示される。
- (2) 点検アプリからアップロードされてきた点検データをデータベース上で修正し、点検記録（県様式、国提出様式）、特定溝橋様式、橋梁管理カルテ等を作成する。
- (3) 記録作成完了後、各様式を出力し、発注者に提出するとともに、データベースに保存・蓄積する。

(3) について

記録作成後、データベースから各記録を出力し、発注者に電子成果品として提出する。提出時のフォルダ構成等は、山口県橋梁点検（案）を参考にする。業務完了検査時には、必要に応じて、データベース上の各種入力情報を示して、点検結果の細かい説明を実施して良い。データベースへの最終的な保存・蓄積は、記録の修正等が発生しない段階（例：納品・検査直後）に行う。

道路整備課は提出された各記録を一元管理する（将来的にはマネジメントシステムを構築し、一元管理の容易性を向上予定）。

出典：AIによるインフラ点検・診断システム運用ガイドライン
（令和5年9月 山口県）